

第 115 回 川に学ぼうかい in 浦上川

あの日を忘れない! 被爆 80 年まであと 1 年☆浦上川クリーン活動!!

2024.8.3(土) 8:00~9:15 頃 浦上川・大橋~対堂橋付近

2024 年 8 月 9 日は、長崎に原爆が投下されてから 79 年の日となり、当会の活動開始から 19 年となります。今回の活動では、**原爆や戦争などで犠牲になられた方々を追悼し、みんな**で協力して、少しでも浦上川をきれいにできればと思います。よろしくお願いします。

今回の活動予定 (時間は目安です。)

8:00 あいさつ、黙とう、趣旨・概要紹介等 ⇒ 活動開始 8:50 ごみ分別

9:05 記念撮影・ごみ運搬 ⇒ 活動終了・解散 (9:15 を予定)

※熱中症に注意し、気温等の状況により時間を短くする可能性があります。ご了承ください。

☆原爆投下と浦上川でおきたこと☆

太平洋戦争末期の 1945 年 8 月 9 日午前 11 時 2 分、長崎市松山町付近の雲の切れ目から、広島に続く 2 発目の原爆が投下されました。

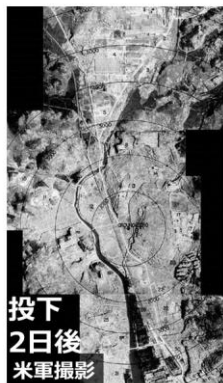
原爆により、当時の長崎市の人口の約 3 割にあたる **7 万人以上が犠牲**となり、**爆心地に近い浦上川**においても、熱線により水を求めて集まった**数千人もの方が亡くなられた**とされています。戦後も、多くの方々に、**被爆の後遺症**など、**深い傷と苦し**みを残しています。

長崎への原爆投下



1945年8月9日11時2分

8月6日の広島に続き、長崎市松山町付近に投下。



投下
2日後
米軍撮影

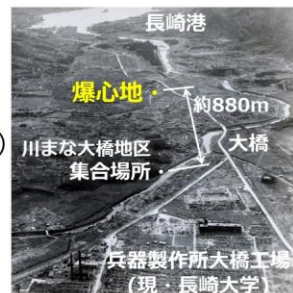
1

原爆による人的被害

死者 73,884人
負傷者 74,909人
被災戸数 18,409戸
(半径4km以内、市内の36%)

原爆資料保存委員会の報告
昭和20年12月末までの推定
(昭和25年7月発表)

約14万9千人が死傷したと推定。当時の長崎市の人口約24万人のうち、約6割に相当。

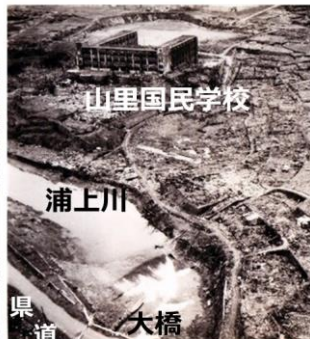


2

原爆投下と浦上川



大橋
鉄道橋



山里国民学校

浦上川

県道

大橋

浦上川では、数千人の方々が水を求めて犠牲に。3

大橋付近の惨状の絵



森幸男氏・画
2009.3.7
新聞紙面より

特に大橋付近は爆心地に近く、悲惨を極めた。4

原爆投下までの浦上川は、江戸時代から続くシロウオ漁が行われ、子ども達が魚を釣ったり泳いだりした美しい川だったことが、**被爆者の方々の証言**などからわかってきています。

被爆直後、多くの方々が浦上川に水を求めたのは、原爆の熱線を浴びて**余りにも熱く苦し**かったから、また、この川に**きれいな水が流れていた**から、と推察されます。

前代表の父の手記（抜粋）

長崎駅から浦上方面を望むと、一面に火の海と化している。とても通れないので、銭座町の山の手中腹から医大の方に出て、**純心女学院近くの浦上川の中を下った**が、そこには**兵器製作所の工員らしい百数十人が、水を求めて川の草原に降り、焼けただれた皮膚を太陽にさらしながら、苦痛を訴えていた。**すでに息を引き取った人も大勢見受けられた。

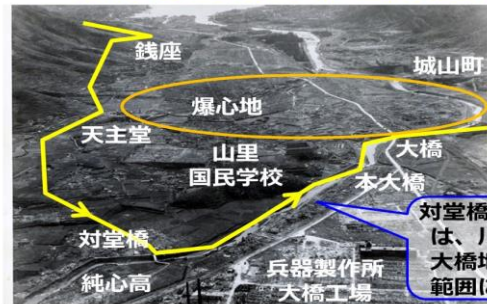
私は**大橋から川の土手つたいに行き**、油木から護国神社に登ったが、下に見える自宅は、焼け残った木材がくすぶりつけていて、まだ近寄れない。

（「ナガサキは語りつぐ」1991、長崎市編）

自宅に戻る際に、浦上川の中を下った。

5

前代表の父の移動経路

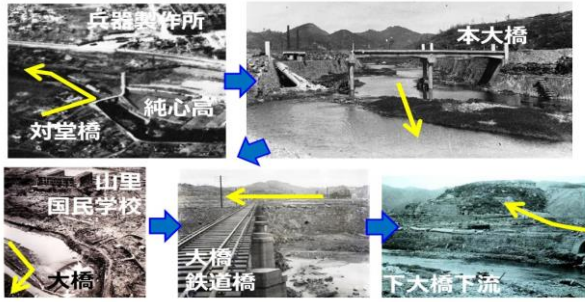


対堂橋～大橋は、川まな大橋地区の範囲に一致

爆心地を避け、浦上川を下るルートを通る。

6

移動経路上の浦上川



父が歩いた被爆直後の浦上川の状況。

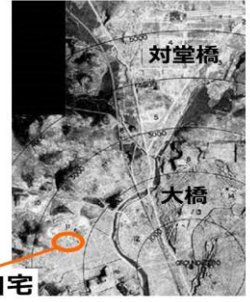
7

家族を相次いで失う

- 8月10日 次男・三女
- 8月12日 妻
- 8月14日 次女
- 8月16日 長男
- 父と長女だけ生き残る。

「一度に五人の妻子を失い、一時は茫然とした。」
（「ナガサキは語りつぐ」1991、長崎市編）

全焼した自宅



父は戦後再婚し、1948年3月、私が生まれた。8

☆川まな大橋地区の活動とこれから☆

川に学ぼうかい in 浦上川（大橋地区）は、2005年8月6日に活動を開始し、**防災、環境や歴史、平和**に思いをはせながら、少しずつ私たちのライフスタイルを見つめなおしていけたらいいな～と願って、非力ですが、**清掃や観察、情報発信等の取組み**を続けてきました。

これからも、「**多様なメンバーで、ゆるく、細々と、楽しもう**」をモットーに活動を継続し、活動や浦上川の魅力も少しずつ発信していけたらと思います。よろしくお願ひします(*^ ^*)

川まなの活動のようす



ふだんの活動は、2ヶ月に1回実施。

主に長ぐつをはいて、浦上川の流りにふれながら、ゴミを集めるといった簡単なもの(^^)。

9

世界につながる貴重な歴史!!



浦上川の信徒たちが、大浦天主堂で信仰を告白した**信徒発見 (1865年)**から100年の日に建てられた記念碑

しかし、**いろんなごみ**が!

ごみを減らすために、みんなで取り組もう!!

深い歴史を育む空間：信徒たちの**信仰の場**や**原爆の爆心地**に近く、**長崎大水害の被災地**にも位置。10

原爆や豪雨災害の歴史を伝える護岸



昭和初期の豪雨災害後につくられ被爆した石積み護岸と、長崎大水害後にできた根継工の両方がみられる。

11

出会う生きものたち!!



大橋地区は、川の水と海の水が接する地点。

⇒ **いろんな生きものがみられるよ!!(^^)** 12

詳しくはホームページで(^^) / (「浦上川」で検索!)

川まな大橋地区 被爆80年まであと1年☆浦上川
クリーン活動 (2024.8.3) 配布資料